



# カウンスリングだより

保育観察エッセイ①

はったつがみえるよ!

～ぶんかのこどもたち～

キンダーカウンセラー  
宮本 祐子

1 学期の相談日は 4/19(火)、5/17(火)、6/14(火)、7/12(火)です。  
となたでも、お気軽におこし下さい。  
また、今年度より毎週火曜日を「子育て応援の日」とし、子育て支援室において、育児相談や各種情報・資料提供をしています。  
詳細は後日ご連絡いたします。

♪幸いにも、私はキンダーカウンセラーとして、子ども達の中に入って一緒に遊ぶことができます。  
毎月1回の訪問で、触れ合う時間は限られていますが、頻度が少ない分、子ども達の成長を感じられることが多く、毎回生き生きとたくましく変わっていく姿がとっても楽しみです♪

ご入園、ご進級おめでとうございます。色とりどりの春の花々が咲き、また、子どもたちの元気いっぱいの声が園庭に響き、新しい生活がスタートしました。

新入園の子どもたちにとっては、生まれて初めての集団生活で、ワクワクしつつも、いつもそばで見守ってくれていた保護者の皆さんと離れ、何事も初めてづくしの環境でドキドキしていることでしょう。保護者の皆さまにとっても、子どもさんの成長の喜びを感じられている反面、長時間離れる経験は初めてで「大丈夫かしら、泣いていないかしら、先生や友達と楽しく過ごしているかしら」と心配な気持ちを抱えていらっしゃるのではないのでしょうか。

進級された年中さんや年長さんは、新しい教室、新しい先生、新しいクラスメートになり、馴染みがあるもののまた違った印象になって戸惑っている子ども達もいるかもしれません。子どもさんによって新しい環境への適応もいろいろです。変化に対してさっと適応できるタイプの子どものさんもありますが、ゆっくりとなじんでいく子どもさんもあります。

入園して最初は順調でも、しばらくたったころ、登園バスが来た時大泣きしたり、朝、園の入り口のところで保護者の皆さんとの別れ際、泣いてぐずったりする子どもさんも毎年いらっしゃいます。そういう姿を見ると保護者の皆さんはとても不安になり、どうしてうちの子だけそうなんだろうと焦ってしまわれるかもしれません。今までずっと一緒だった保護者の皆さんと離れることを、子どもたちが不安に感じるのは当然のことです。もちろん子どもさんの泣いている状態にもよりますが、先生がいつもそばにいますし、最初は泣いていても、しばらくすると周りの子ども達の力によって遊び始め、徐々に慣れていくこともありますので、まずは心配しすぎたり、不安をそのまま子どもさんに「どうして泣いてばかりなの」などと、ぶつけてしまったりしないでほしいと思います。不安になっても不思議でないので、不安になっている気持ちは受け止めてあげて、帰宅したら親子でゆっくり過ごし、体調に気をつけてあげましょう。疲れで多少不機嫌になっても、ゆったりと見守ってあげてください。若葉マークの子どもたちも少しずつ適応していきます。子どもたちの力を信じてあげてほしいと思います。

しかし環境になかなか慣れない要因に、家でしていることと大きく違っていたりすると戸惑うこともあるでしょう。着替えや食事やトイレなど身辺面のことは日ごろから少しずつ年齢に応じたことが自分でできるように、家庭でも目標を決めて取り組んでほしいと思います。大人がすぐに手伝ってしまうのではなく「できた、やれた」と実感をもてるように自信につながるようにしてあげてほしいです。

保護者の皆さま、子育ての中で「どうしたらいいだろうか」と聞きたいことや気になっていることがあれば、どんな些細なことでも構いません。話すことでご自分の考えに気づき、整理することにつながると思います。どうぞ気軽にお声をかけてください。

キンダーカウンセラーとして、園を訪問させていただいております臨床心理士の宮本祐子と申します。普段は大学の付属機関の心理・教育相談センターで、主に就学前～中学生のお子さんについて、保護者の方々に、発達及び諸々の相談をしています。毎月1回、蛭池文化幼稚園にて、保護者のみなさまがお子さんとうまく関わった方がいいのかな～? など子育ての心配や、ご自分について、またお子さんのお友だち同士の関わりや園での生活の心配などの相談にのらせていただいております。費用の方は幼稚園で負担して下さいますので、保護者の方々の負担はありません。また、園児の保護者以外の方も参加可能です。どんな些細なことでも「ちょっと聞いてみたいな～」「こんなときどうしたらいいかしら」というときに、お気軽にお越しください。